



## 生き方を学び、考え、覚悟を決める！

1年生は、職業について学び、将来どう生きていくかを考えるきっかけにするため、「社会人よのなか教室」を実施しました。様々な職種の方の話を聞き、生徒は「その職業の苦労や夢、働くことの意義」について学んだようです。

2年生は「高校よのなか教室」として、県立・私立高校の中から、自分が選択した学校の授業を受けました。中には、本校の卒業生を同行し、後輩である2年生の体験活動を支援してもらった学校もありました。2年生は、高校の学習内容の一部に触れ、高校生になった自分の姿をイメージしたのではないかと思います。

3年生は、高校入試の面接練習が始まっています。本年度は、コミュニティー・スクールの学校運営協議会委員も面接官をしていただき、写真のように練習を行うのも、現時点で3週目です。同時に、三者面談を開始していますので、3年生は自分の生き方を決めて、覚悟をもって突き進む時期に突入したという状況です。

学校では、地域の方のお力添えをいただきながら、働くことや進路について学び、自分の将来の夢を描かせようとしています。ご家庭では保護者の皆様の考えを伝えたり、子どもの考えを聴いたりして、将来の展望を広げていただくとありがたいと思います。



【1年生社会人よのなか教室の様子Ⅰ】



【2年生高校よのなか教室の様子】



【1年生社会人よのなか教室の様子Ⅱ】



【3年生入試面接の練習の様子】

## 地域とともにある学校をめざして

本校が、昨年度からコミュニティー・スクールになり、地域の方には、これまで以上に多く学校に来ていただき、授業や行事、見守り活動など生徒の支援に当たっていただいています。(コロナ禍で、計画通りに進んでいませんが・・・) また、仕事でお忙しいことは承知のうえですが、保護者の皆様にも、いつでも学校に来て、生徒の様子を見て、叱咤激励していただきたいと考えています。将来的には、保護者の方にも地域の方同様、生徒への講話や授業支援などもしていただくイメージももっているところです。

いつでも多くの保護者や地域の方が学校に来て、行事の加勢や生徒の見守りに来ている。そんな学校にしていきたいと思っています。そのような考えもあり、11月は学校としての「参観週間」、PTA活動としての「見守り活動」を実施しました。学校に来ていただいた方の感想の一部を紹介します。

- 朝自習は、全体としては静かだが、私語がある学級もある。遅刻者が多数いる。
- 1年生は、集中していた。2年生は、私語があり、先生の注意を無視している生徒もいた。3年生は、全体としては静かだが、授業内容が頭に入っていない様子もあった。受験前としては心配。
- 勉強を頑張っている生徒と寝ている生徒がいた。
- 小学校でできていたこと(授業中の正しい姿勢、私語をしないなど)ができていない。
- 保護者に一礼できるなど、きちんとできているところはあると感じる。
- いつでも巡回できる環境は、よい方向に向かうと感じる。今後は、教師だけでなく、保護者、地域全体で見守っていく形がベストなのかなと思った。

学習規律や授業の進め方の工夫など、学校がしっかりやらなければならない面があるようです。保護者の立場では、将来の目標、規則正しい生活、善悪の判断等について話をさせていただきようお願いします。